



User manual  
Reserve Parachute

**SHINE**

Pull down APEX Rescue parachutes

取扱説明書



SUP'AIR - VLD  
34 rue Adrastée  
Parc Altaïs  
74650 Annecy - Chavanod  
FRANCE

45°54.024'N / 06°04.725'E

[www.supair.com](http://www.supair.com)

レスキューパラシュート”シャイン”をご購入いただき感謝いたします。共に熱愛するパラグライディングで一緒できることを大変うれしく思います。

スップエアーは1982年からパラグライダー用アクセサリをデザインし、製造し、世界中に販売してきました。常にお客様からのフィードバックを大切にしながら35年以上にわたる専門技術および革新的デザインに裏打ちされたスップエアー製品をご購入されたことは正しい選択です。我々の信条は、常に改良に努め世界中に高品質の製品を提供することです。

この取扱説明書はご購入いただいたレスキューパラシュートのスペック並びに取扱い方について説明しています。十分注意してお読みになり内容を理解してください。

我々のホームページ[www.supair.com](http://www.supair.com)を時々チェックして最新の更新情報が掲載されていないか確認してください。また、お分かりにならないことがございましたらスップエアーのネットワークのいずれかにお問い合わせください。もちろんメールを[info@supair.com](mailto:info@supair.com)宛てに送っていただければスップエアー・チームメンバーがお客様に直接お答えすることも可能です。

楽しいフライトを。

スップエアーチーム

# 目次

はじめに	4
スペック	5
構成部品	6
EN12491基準	7
使用方法	9
レスキューパラシュートとハーネスの接続	10
タンデム用レスキューパラシュートとライザーの接続	12
レスキューパラシュートの収納	13
パッキング	14
ライン長チャート	17
メンテナンス	19
保証	20
免責条項	20
フライト装備	20
整備履歴	21

# はじめに

共に情熱を寄せ合うフリーフライトの世界へようこそ。

シャインは最上の沈下速度を持つ安定性の高い、扱い易く効率の良い円型レスキューパラシュートです。あらゆるパイロットの要求に完璧に合致し満足させるものとなっています。

シャインはスップエアーの社内開発チームによりデザインされました。

シャインは新時代の半球状レスキューパラシュートです。クロスにはデシテックス20、全てのラインはダイニーマ®製となっています。これらの素材を使用することでシャインは信頼性のある軽量で堅牢なパラシュートとなっています。

最良の結果と最高の性能を得られるように実績のある素材を使用しています。デザインおよび素材の選択は耐久性と品質を考慮して綿密に行われてきました。

シャインはEN12491およびLTF91/09認証を取得しています。

これはヨーロッパおよびドイツの安全基準を満たしていることを意味します。

この取扱説明書を読んでその内容を理解したら、フライトする前にシャインをハーネスに組み込み、シミュレーターにぶら下がってレスキューパラシュートの引き出しテストを必ず実施してください。

注意:この取扱説明書を読むに際し手助けとなる3つのアイコンがあります。



アドバイス



警告！



危険！！

シャイン	Sサイズ	Mサイズ	Lサイズ	タンデムサイズ
最大吊り下げ重量	85 Kg	105 Kg	125 Kg	220 kg
重量	1,10 kg	1,25 kg	1,54 kg	2,85 kg
投影面積	17,52 m <sup>2</sup>	19,05 m <sup>2</sup>	23,45 m <sup>2</sup>	38,73 m <sup>2</sup>
展開面積	28,1 m <sup>2</sup>	31,15 m <sup>2</sup>	38,93 m <sup>2</sup>	65,75 m <sup>2</sup>
ゴア数	14	16	18	22
容量(最大) (L)	2,9 L	3,8 L	4,7 L	7,5 L

\*Total flying weight without the glider.

## 特徴:

最大吊り下げ重量での沈下速度5.5m/s以下(試験機関によるテストおよび測定)  
プルダウンアペックスタイプ

クロス: MJ International D20, PA 6.6 高靱性, 20dctex 30 gm/m<sup>2</sup>.

サスペンションライン: ライロス製 00148-0131 / 00099-1192 (S, M et L) /

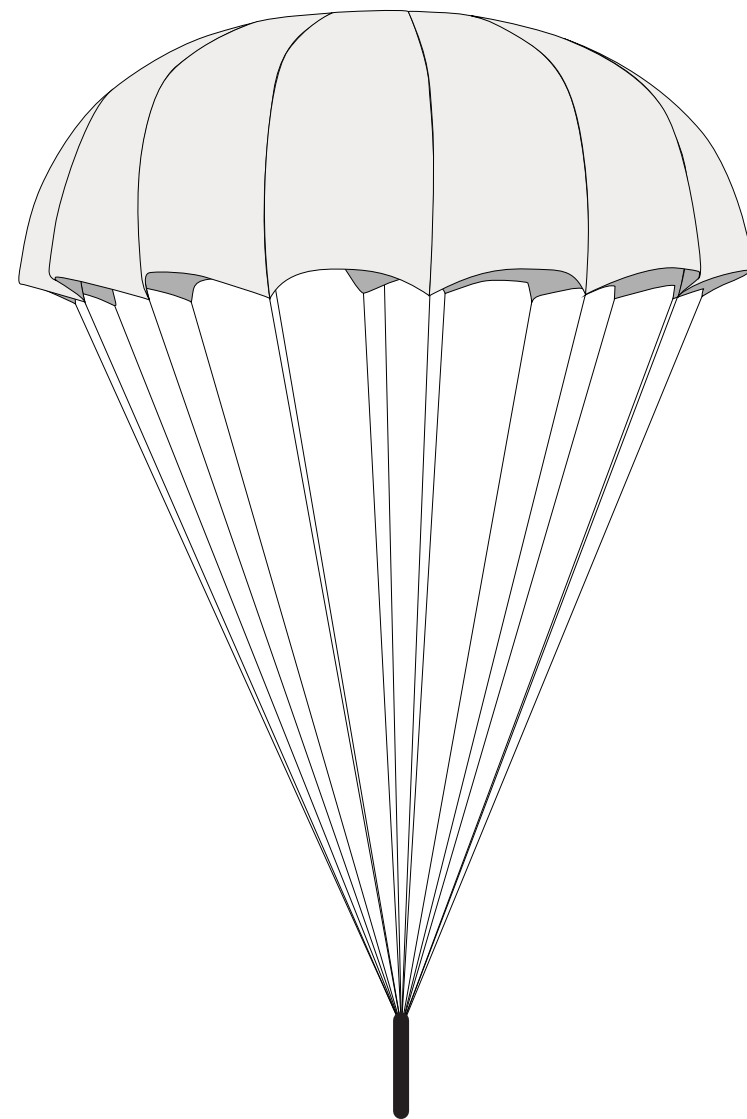
クーザン製 2411 レスキューライン (タンデム).

ブライダルテープ: Longueur 28cm, tresse Dyneema® 6 mm épissurée 2 500DaN.

## オプション:

-スタンダードレスキューブライダル145cm(120 g)

-ステンレス製角型6mmラピッドリンク2個(ハーネスとレスキューブライダル接続用) - (2個で 84 g)  
レスキューブライダルとレスキューパラシュートとの接続はヒバリ結び



- 1 インナーコンテナに収納されたレスキュパラシュート
- 2 パラシュート側ブライダル
- 3 製造番号と日付の記入されたラベル



## オプション:

- 4 レスキュブライダル(ソロストレートタイプ)
- 5 ラピッドリンク角型6mm
- 6 Oリング(ブライダル固定用)



以下にEN12491基準による要求事項について説明します。このヨーロッパ規準(EN)は全てのパラグライダー用レスキューパラシュートについて要求されています。我々の全てのレスキューパラシュートはこのEN基準に合致しています。

レスキューパラシュートの認証コードEN12491は次のように記述されています:

- 飛行試験:安定した直線飛行状態からレスキューパラシュートを開傘する。再現性がありかつパラグライダーによる干渉を排除した正確なテストを実施するためにパイロットはパラグライダーを切り離す(振り子安定性をテストするためにふり幅が最大となる位置で)。

•最大沈下速度が着地直前の30mで測定される。パラグライダーを切り離れた状態で最大吊り下げ重量での沈下速度が5.5m/s以下であること。

•安定性は主観的に目視による確認(振り子現象が有るか無いか)と総合的な沈下速度(一般的に不安定なパラシュートは沈下速度が大きくなる)により確認されます。

•開傘速度は5秒以下であること。

- 構造試験(強度試験):レスキューパラシュート全体としての強度が最大吊り下げ重量に対して水平速度40m/sで確認されます。パラシュートに最大吊り下げ重量に合わせたマネキンを接続し、水平速度40m/sで飛行する航空機から落下させ、パラシュート全体(キャンピー、サスペンションライン、ブライダル)に破損が無いことを確認。

認証試験の結果はホームページで確認することが可能です。 [www.supair.com](http://www.supair.com)

## フライトテスト

ヨーロッパ基準EN12491

200 m

開傘速度+グライダー切り離し

150 m

安定性

30 m

最大吊り下げ重量時の沈下速度 ≤ 5.5 m/s



# 強度テスト

ヨーロッパ基準 EN 12491

最大吊り下げ重量で  
水平速度 40 m/s (144 km/h)







## パラグライダー用レスキューパラシュートの使用方法:

まず始めに、レスキューパラシュートを使用することは決して絶対確実なものでもなく、パイロットに危険が及ばないものでもないことを強調しておきます。レスキューパラシュートは、緊急事態に於いて開傘されるためにのみ存在します。確実に機能するには、パイロットの重量が製造者の推奨する吊下げ重量範囲内になければなりません。製造者の推奨する吊下げ重量範囲を逸脱してレスキューパラシュートを使用することは危険で絶対に避けなければなりません。

- レスキューパラシュートのライザーとハーネスの接続は、パイロットが足を下にした立った姿勢でランディング出来る様になっていなければなりません。
- レスキューパラシュートは、一連の確実な機能が働く様に認証登録された時と同じ状態であることを保証するために絶対に改造してはなりません。
- 一どのようにパラシュートが動作するかを知ることには大変重要で安全性を確保した状況(例えばSIVコース)においてのみ実施することが可能です。

## レスキューパラシュートの開傘:

- レスキュートグルを見る。
- しっかりとトグルを掴み、アウトターコンテナあるいはハーネス内蔵コンテナからレスキューパラシュートを引き出す。
- トグルを持って、インナーコンテナを力強くパラグライダーから離れるように障害物の無い空間へ放り投げる。



レスキュートグルは離すこと  
握り続けられないこと

ブライダルとラインが伸びきるとインナーコンテナは自動的に開きます。(万が一開かない場合は、ブライダルを力強くシェイクします。)

- ブルダウンアペックデザインによりキャンピーは簡単・瞬時に開傘します。
- レスキューパラシュートが開傘したらパイロットはBライザーを対称に出来るだけ引き込みパラグライダーを無能力とし、パラシュートが頭上に来るようにして降下を安定させます。
- ランディングに際してパイロットは、足を柔軟にし側方に転がって(いわゆるパラシュート・ランディング・フォールPLFと呼ばれる転がり方)衝撃を和らげる準備をします。

## 着水後のレスキューパラシュートのメンテ:

- 着水した場合は、製造者のガイドラインに従って、レスキューパラシュートを乾かし、その後ラインをストレッチし再調整をします。
- レスキューパラシュートを直射日光の当たらない屋外の日陰で乾燥させます。
- 湿気や湿度によるナイロンの収縮を調整するためにサスペンションラインは30kg、アペックスラインは50kgの力でラインをストレッチさせます。ライン長のチェックには10kgのテンションをかけた状態で行ってください(17、18ページのライン長チャートを参照)。
- 製造者のガイドラインにしたがってリパックをします。
- ハーネス内に正しくレスキューパラシュートを収納します。シミュレーターにぶら下がり、レスキューパラシュートを引き出し正しく収納されたか確認します。その後、再びハーネスにレスキューパラシュートを収納します。

## 注意:

EN12491基準に従って認証登録されたレスキューパラシュートは、理論的には降下速度が5.5m/s以下になります。これは1.8mの高さから飛び降りた時と同じ値になります。この沈下速度はいくつかのパラメーターにより大きく左右されます: 空気密度、総吊下げ重量、パラグライダーの形状、大気圧など。

パラグライダーが全システム(パラグライダー・パラシュート)に与える影響は非常に重要ですが、それを予見したり定量化したりすることはできません。そのシナリオをテスト時に再現することもできません。

従って、パラグライダーが無能力化されていない場合の沈下速度は認証試験で得られた値よりはるかに大きくなる危険性があります。



緊急時においてレスキューパラシュートを使用する明らかな有効性を示している統計はありますが、いつでもどこでも有効であるわけではありません。

# レスキューパラシュートとハーネスの接続

レスキューパラシュートの接続は、接続するブライダルの種類によって異なります。以下の説明を参照して下さい:

- Y型ブライダルとの接続 >> 2個の角型ラピッドリンク6mm (商品コード:MAILCARIN6) + 2個のOリング (商品コード:MPPP044)が必要
- スタンドブライダル (商品コード:ELESOLSTD) との接続 >> 1個の角型ラピッドリンク7mm (商品コード:MAILCARIN7) + 3個のOリング (商品コード:MPPP044)

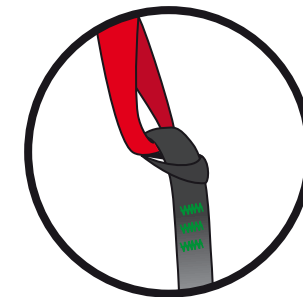
使用するブライダルに対応する説明に従ってください。

## 1. Y型ブライダルでレスキューパラシュートとハーネスを接続する

>> Y型ブライダルとパラシュートの接続

レスキューパラシュートのブライダルとY型ブライダルをヒバリ結びで接続します。

>> Y型ブライダルとハーネスを接続します。



1. - 2個の角型ラピッドリンク6mmと2個のOリングを用意します。

- 肩ベルトにあるブライダル接続ループにアクセスするために肩ベルトカバーのベルクロ(あるいはファスナー)を引きはがします。

2. - ラピッドリンクを開けて肩ベルトに有るループに接続します。

- Oリングをラピッドリンクに通します。

- Oリングを1回ひねります。

3. - ひねったOリングにY型ブライダルの片方を通しラピッドリンクに通します。

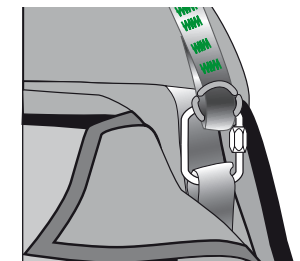
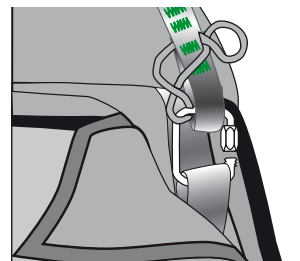
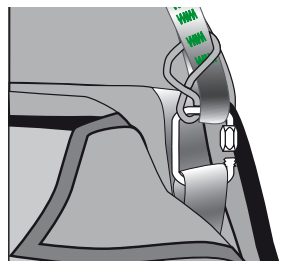
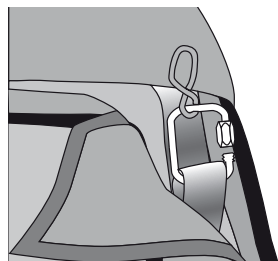
4. - Oリングをもう1回ひねってラピッドリンクに通します。

5. - 接続部を整えます。

- ブライダルの端がきちりとラピッドリンクに接続されていることを確認します。

- ラピッドリンクを手で締め上げます。

- プライヤーでさらに1/4回転締めます。



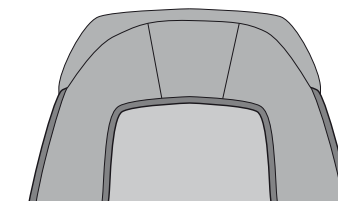
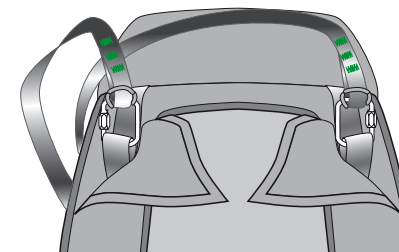
6. ステップ2から5までを反対側のブライダルに対して行います。

7. 余っているブライダルをブライダルカバーの中に整頓します:

- レスキューグルを右側にセットしたい場合(右利きに推奨)は右側のカバーに。

- あるいは左側にセットしたい場合(ハーネスがブライダルを両側に収納できるタイプであるなら左利きに推奨)は左側のカバーに。

- 肩ベルトカバーのベルクロ(あるいはファスナー)を閉めます。



# レスキューパラシュートとハーネスの接続

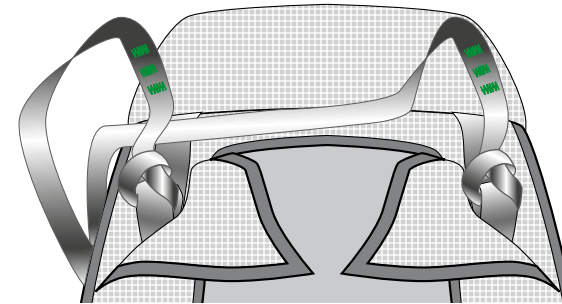
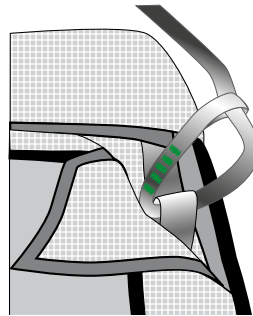
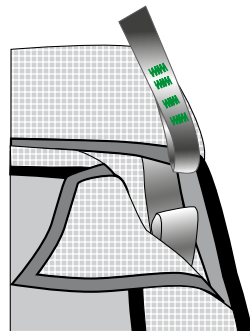
## 2. スタンダードブライダルでレスキューパラシュートとハーネスを接続する

>> ブライダルとハーネスをヒバリ結びで接続する

1. - 肩ベルトにあるブライダル接続ループにアクセスするために肩ベルトカバーのベルクロ(あるいはファスナー)を引きはがします。†

2. - それぞれのブライダルの大きいほうのループ端をブライダル接続ループにヒバリ結びで接続します。

3. - 接続部を整えます。  
- 左右の接続部を締め上げます。  
- 左右のブライダルが同じ長さになっていることを確認してください。



>> ブライダルをパラシュートに接続する

角型7mmラピッドリンク1個と2個のOリングを用意します。

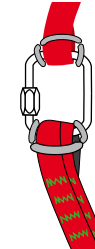
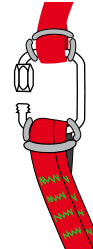
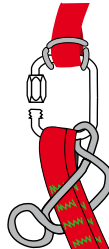
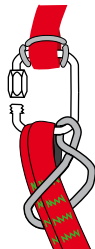
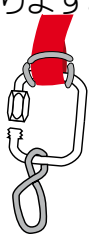
1. - ラピッドリンクを開放しレスキュー側のブライダルを通します(Oリングを使用してブライダルがずれないように固定します)。-次に、Oリングをラピッドリンクに通し、1回ひねります。

2. - そのOリングに片方のブライダルを通しラピッドリンクに通します。

3. - Oリングをさらに1回ひねりラピッドリンクに通します。

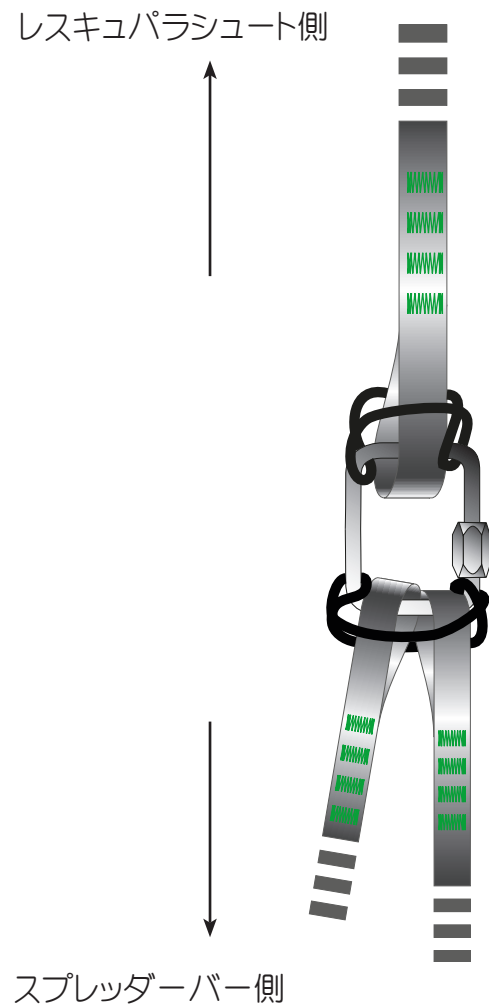
4. - もう一方のブライダルもステップ1から3を行います。

5. - 接続部を整えます。  
- ブライダルの長さが同じであることを確認します。  
- ラピッドリンクを手で締めあげます。  
- プライヤーでさらに1/4回転締めます。

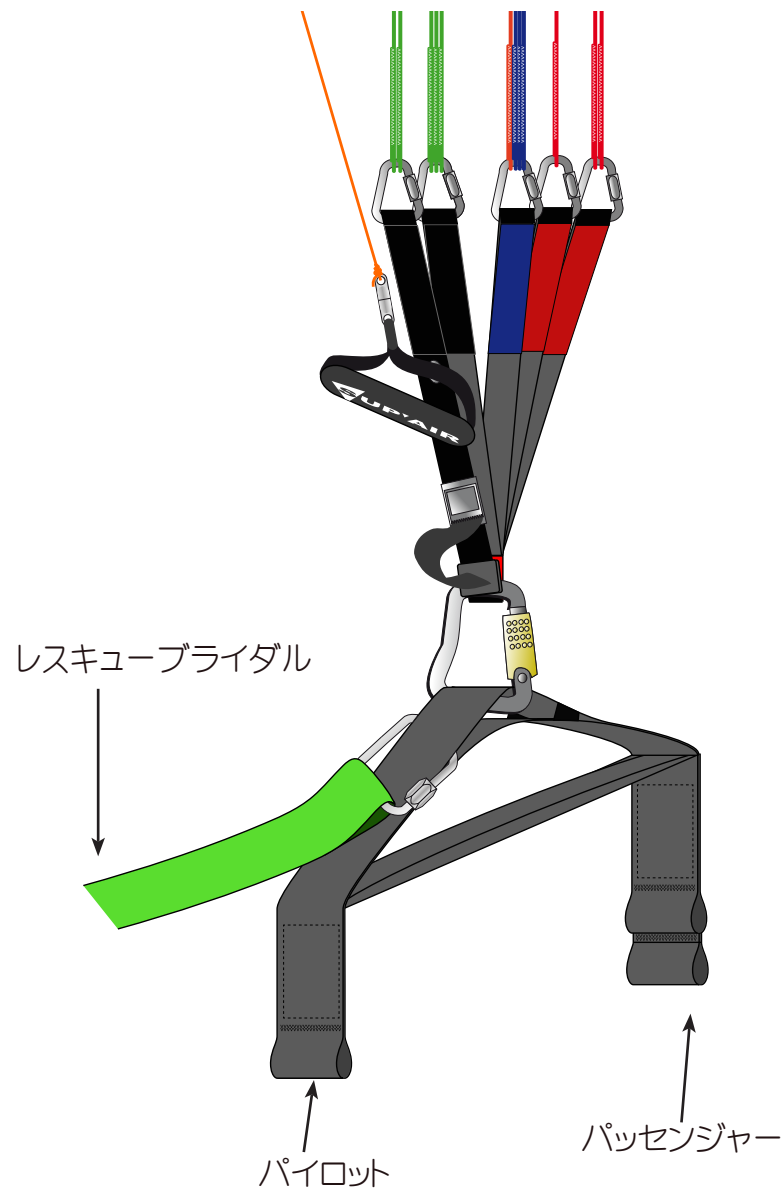


# タンデム用レスキューパラシュートとライザーの接続

1. レスキューパラシュート側ブライダルとハーネス(スプレッターバー)側ブライダルをステンレス製7mmの角型ラピッドリンクを使用して接続します。それぞれのブライダルをゴム製Oリングを使用して下図のようにラピッドリンクに固定します。



2. スプレッターバーのカラビナ取付け位置に角型ラピッドリンク6mmと固定用のOリングを使用してブライダルを接続します。



# レスキューパラシュートの収納

## 3.パラシュートをコンテナに収納する

あなたのコンテナがアウトフロントコンテナあるいはハーネスに組み込まれたレスキューコンテナかにかかわらずコンテナあるいはハーネスの製造者のガイドラインに従って収納してください。



パラシュートを収納したら引き出しテストを必ず行ってください。

コンテナにパラシュートを収納したら、必ずシミュレーターにぶら下がって引き出しテストを行ってください。トグルを引くとパラシュートが引き出される前に全てのコンテナフラップが開放されることを確認し、同時に引き出すのに必要となる力を評価します。引き出しテストが終了したら、同じ方法で再びパラシュートをコンテナに収納します。

パラシュートのリパックおよび収納は資格のある専門家に行ってもらうことを強く推奨します。システムが適切に機能することを確認するために、引き出しテストは6か月ごとに実施してください。  
注意:シミュレーターにぶら下がって引き出しテストをするのに際し、パラシュートを開傘する必要はありません。コンテナからインナーコンテナに収納されパラシュートが引き出される場所まででOKです。

**アドバイス:** 速い開傘速度および構造の健全性を確認するためにレスキューパラシュートは6か月ごとにリパックする必要があります。このリパックの機会を利用してパラシュートの引き出しテストをすることが推奨されます。



パラシュートのパッキング方法はこの取扱説明書、ハーネスへの収納はハーネスの取り扱い説明書にしたがって行ってください。



レスキューパラシュートのパッキングはそれほど難しいものではありませんが、周到で正確なたたみ方が要求されます。自分自身でパッキングするのが不安であるなら、専門家あるいは適切な技能を持ったもののアドバイスを受けて下さい。

注意:パッキングする機会にレスキューパラシュートの引き出し試験をすることをお勧めします。

パッキングに際し、常に以下の事項に注意して下さい。

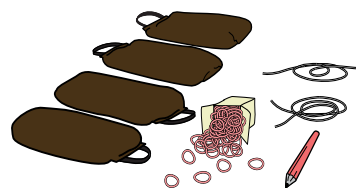
- 注意深く各ラインをキャンピーからライザーまで破損していないか確認。
- 最低でも12時間キャンピーを乾燥させる。
- キャンピー生地に破損や汚染が無い確認。
- インナーおよびアウターコンテナの状態を確認。
- レスキュートルがインナーの正しい位置に取り付けられているか確認。
- インナーのフラップ止め用ゴムループの状態を確認。

(もし破損していたり、おかしいようなことを発見したら、専門の修理工場あるいはメーカーに送って検査を行って下さい。)

### 1 パッキングに必要な道具の

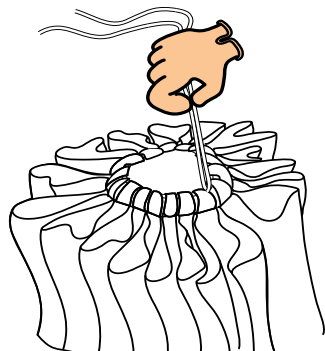
リストアップをし用意しておきます。

- \* ラインまとめようゴム輪
- \* サンドバラスト又は本
- \* 30cmほどの細紐
- \* レスキューインナー

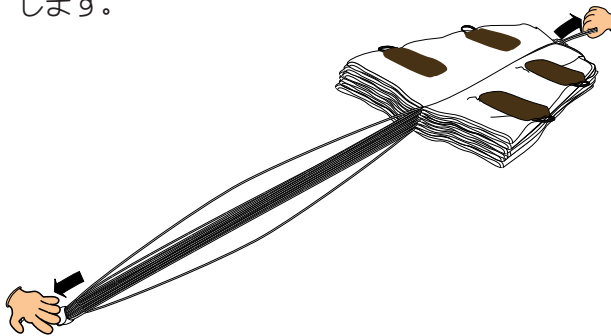


**2.** キャンピーが完全に絡まっておらず、全てのラインがライザーからキャンピーのリーディングエッジまで絡まったり結び目が出来てないことを確認します。

**3.** ブライダル側から全てのサスペンションラインにテンションをかけます。パネル縫製部のほぼ真ん中あたりにあるパッキング用ループに細紐を通します。

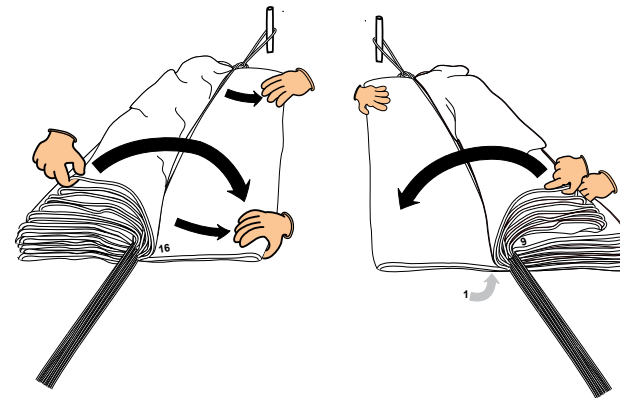


**4.** 全てのパッキンググループに細紐を通し、それを利用してライン、キャンピー全体にテンションをかけます。左右のラインがきちっと分かれているか確認します。

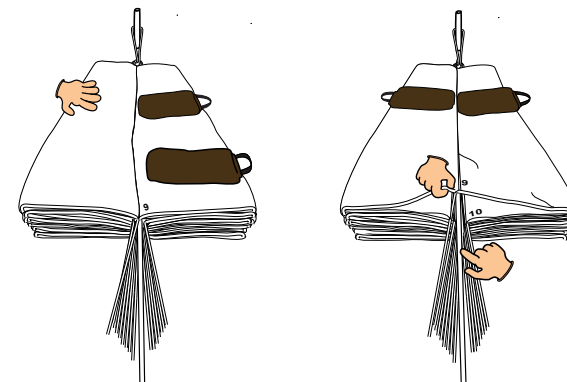


## パッキング

**5.** 全ての赤色のパネルを順に右側にきれいに重ねます。次に白色のパネルを番号1番から順に左側に重ねます。

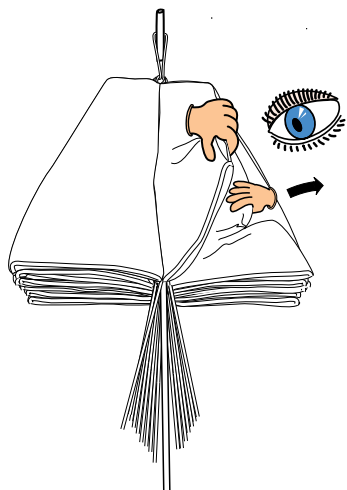


**6.** 左右のパネルが上から下まで確実に重なり、左右のパネル枚数が等しく、合計数が実際のパラシュートの仕様とあっているかを確認します。リーディングエッジがきれいにそろっているかも確認します。

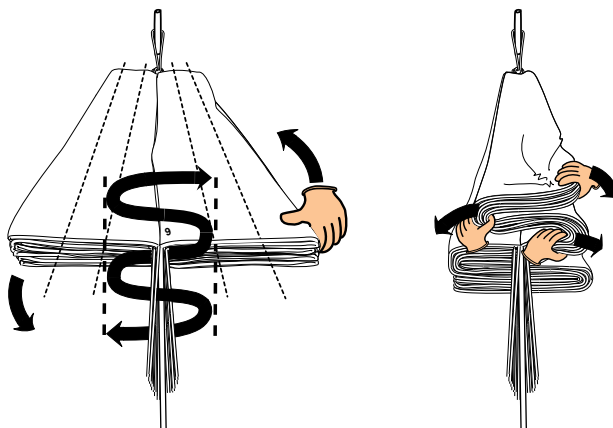


# パッキング

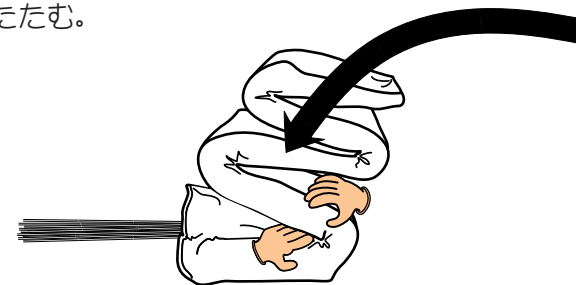
7. 1番上側のラインを持ち上げて、ウインドチャンネルが何物にも妨害されずにアペックスまで貫通しているか確認します。また左右のパネルが規則正しくきれいにたたまれているか確認します。



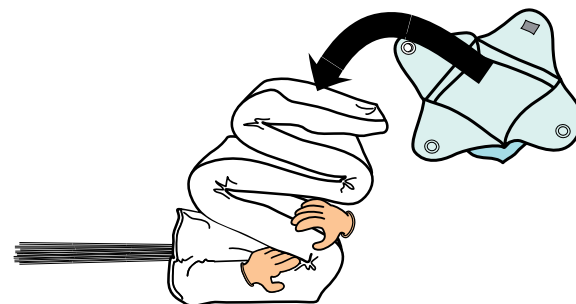
9. 左側のパネルをキャンピーの下側に入るようにS字に折り返し、右側のパネルはキャンピーの上側にのるようにS字に折り返します。サンドバラスト(または本)をキャンピーにのせ、きれいにたたまれたままになるようにします。



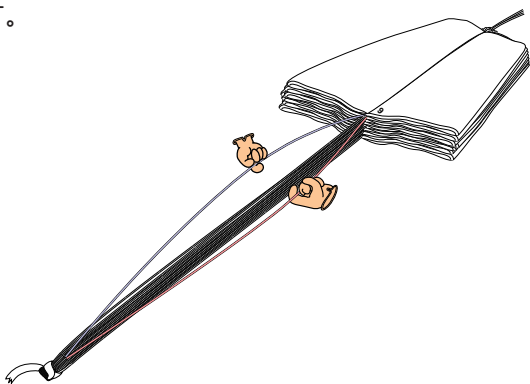
11. キャンピーをスカート側からS字に折りたたむ。



12. インナーコンテナを上側からかぶせパラシュート全体をひっくりかえします。スカート側にサスペンションラインを収納するためのスペースを確保しておきます。



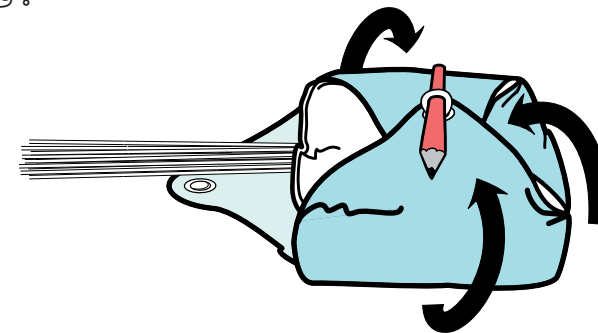
8. 1番下側の2本のラインと1番上側の2本のラインが、絡まったりせずにキャンピーからブライダルまでまっすぐに伸びていることを確認します。



10. キャンピーにかけていたテンションを開放し、**すぐにパッキングループを縛っていた細紐を取り外します。**安全上の理由からここでこの細紐がキャンピーに紛れ込まない様に確実に取り外し、パッキングが完了した後ステップ1でリストアップしたものが確実に回収されたことを確認します。

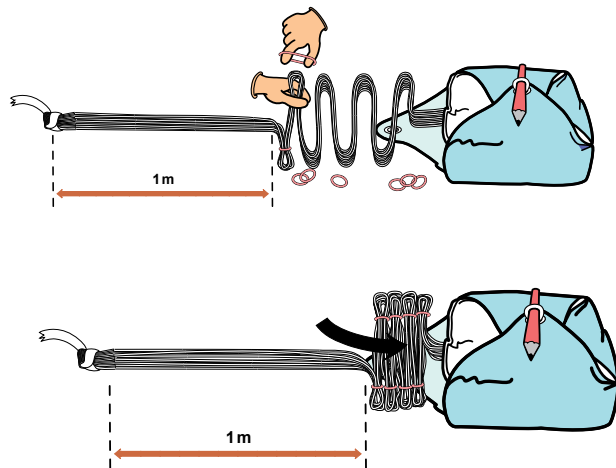


13. フラップ止めゴムループが付いているフラップと横の2枚のフラップを閉め仮止めします。

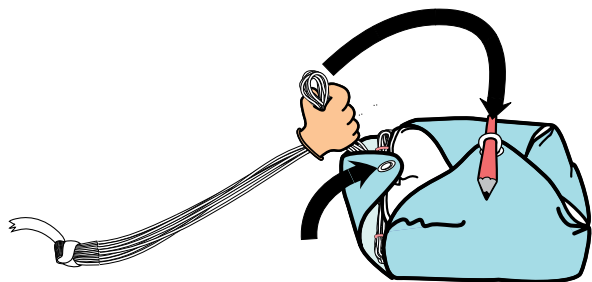


# パッキング

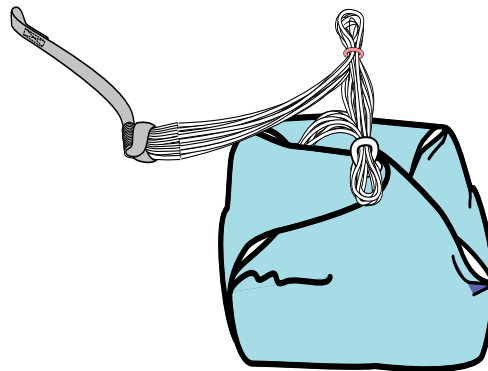
**14.** 1mほどのラインがインナーの外側に残るようラインをインナーの幅に合わせてS字に折りたたみ崩れない様に輪ゴムでまとめます。



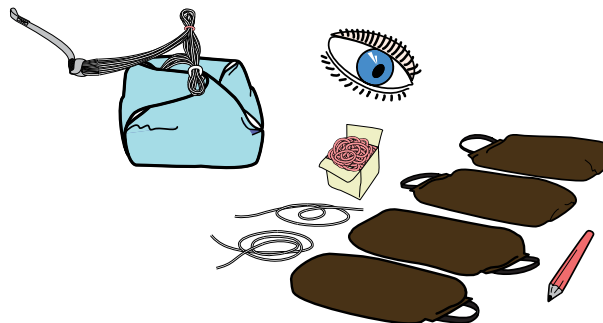
**15.** 最後のフラップにフラップ止めゴムリングを通し、残ったラインをフラップ止めゴムリングに4cm程挿入し全フラップを閉めます。



**16.** インナーの外に残ったラインをS字に折りたたみます。



**17.** ステップ1でリストアップした道具が間違っ  
てパッキングされたレスキューパラシュートの中に紛れ  
込んでなく、全て回収されているか確認します。



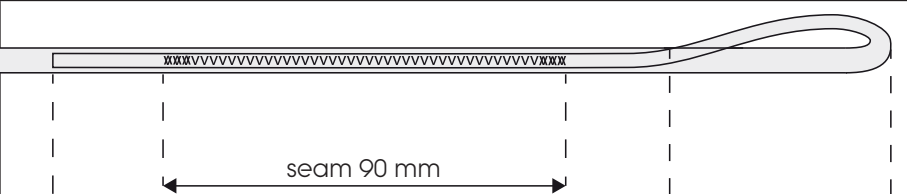
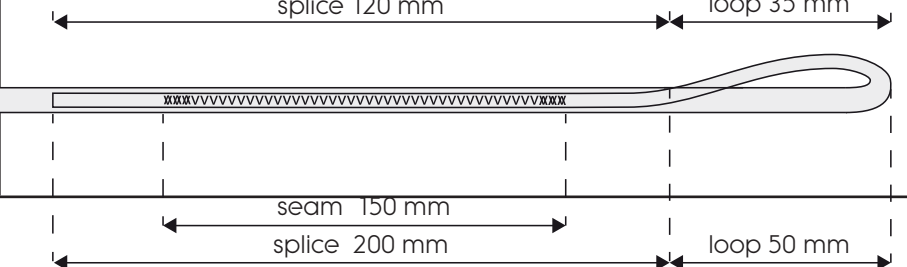
注意:レスキューパラシュートの使用方法およびパッキングの仕方のビデオがスップエアーのホームページに掲載されています。



# ライン長チャート

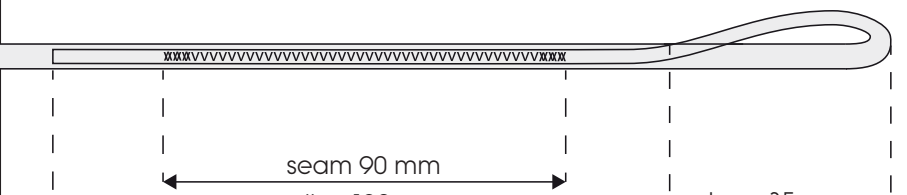
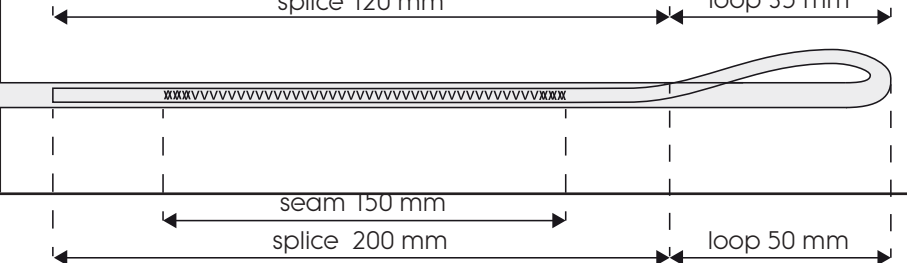
## シャイン Sサイズ ライン長

\* Measurements made under a 5 kg. tension.

ライン種類	切断長	縫製長	ライン本数	ライン素材	
サスペンション	4740	4430	14	Liros 00148 - 0131	2 times 155 mm extra length ( 35 mm buckle + 120 mm splicing - stitching length = 90 mm) 
アペックス	5750	5250	2	Liros 00099 - 1192	2 times 250 mm extra length ( 50 mm buckle + 200 mm splicing - stitching length = 150 mm) 

## シャイン Mサイズ ライン長

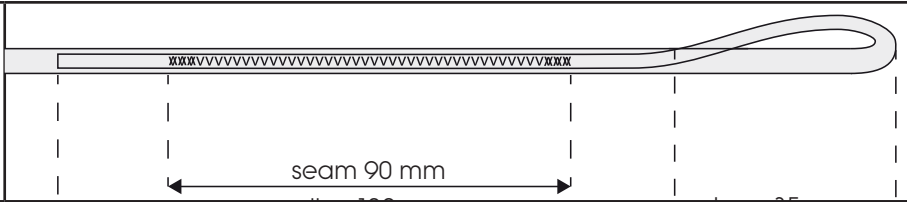
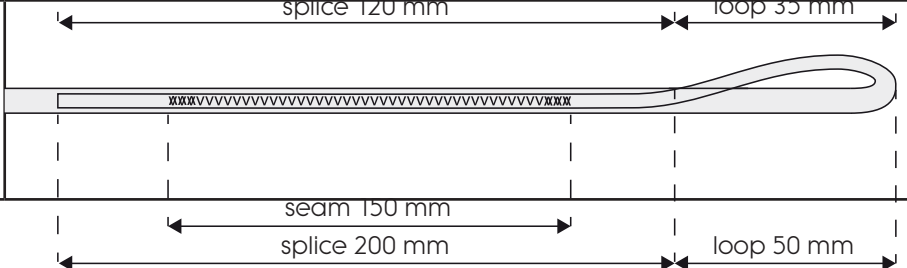
\* Measurements made under a 5 kg. tension.

ライン種類	切断長	縫製長	ライン本数	ライン素材	
サスペンション	5110	4800	16	Liros 00148 - 0131	2 times 155 mm extra length ( 35 mm buckle + 120 mm splicing - stitching length = 90 mm) 
アペックス	6070	5570	2	Liros 00099 - 1192	2 times 250 mm extra length ( 50 mm buckle + 200 mm splicing - stitching length = 150 mm) 

# ライン長チャート

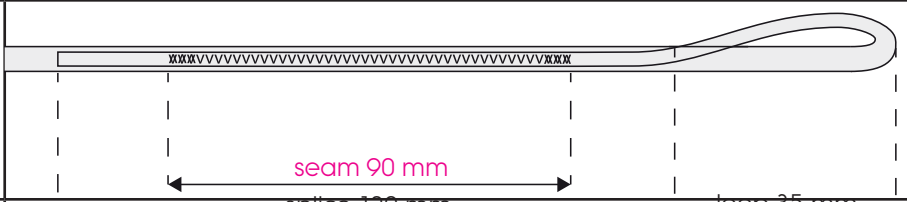
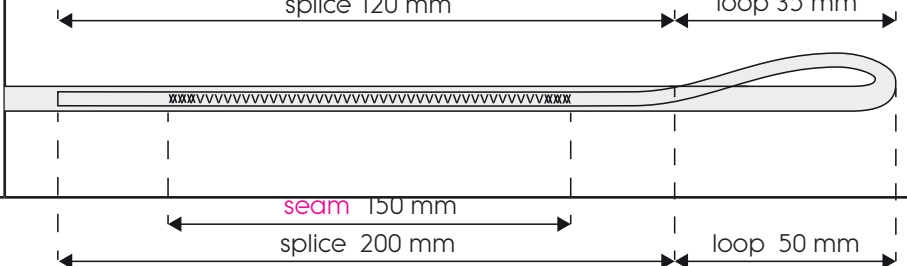
## シャイン Lサイズ ライン長

\* Measurements made under a 5 kg. tension.

ライン種類	切断長	縫製長	ライン本数	ライン素材	
サスペンション	5810	5500	18	Liros 00148- 0131	2 times 155 mm extra length ( 35 mm buckle + 120 mm splicing - stitching length = 90 mm) 
アペックス	6880	6380	2	Liros 00099 - 1192	2 times 250 mm extra length ( 50 mm buckle + 200 mm splicing - stitching length = 150 mm) 

## シャイン タンデムサイズ ライン長

\* Measurements made under a 5 kg. tension.

ライン種類	切断長	縫製長	ライン本数	ライン素材	
サスペンション	7330	7020	22	Liros 00099-1628	2 times 155 mm extra length ( 35 mm buckle + 120 mm splicing - stitching length = 90 mm) 
アペックス	8650	8150	2	Liros 00099-1628	2 times 250 mm extra length ( 50 mm buckle + 200 mm splicing - stitching length = 150 mm) 

## 保守

湿った場合は、バクテリアあるいはカビなどが繁殖しないようにすぐに乾燥させなければなりません。ガソリンその他の溶剤、化学物質はレスキューパラシュートの強度を著しく阻害し危うくします。もしそのような状況になったら、メーカーあるいは専門工場で検査をしなければなりません。アウトコンテナーは、パラシュートを抜いた状態で水と弱めの洗剤で洗い、良くすすいで乾燥させることは出来ます。パラシュートおよびラインは、水だけを使用して下さい。

## 保管および運搬

レスキューパラシュートを使用しないときは、乾燥し涼しく、清潔で紫外線にさらされない場所に保管して下さい。運搬する際にはレスキューパラシュートがこすられたり、紫外線にさらされたりしないように注意してください(保護用バッグを使用する)。湿気の多い状況下で長時間の運搬をしないように。

## リパック頻度

速い開傘速度とパラシュートを良い状態に保つために、6カ月ごとにリパックする必要があります。

## 耐用年数

メーカーの指示に従って適切に仕様・保管されれば10年は耐用するようにデザインされています。それ以上たったものはメーカーあるいは専門工場での綿密な検査が必要です。また定期的にレスキューパラシュートを使用した場合には、このような綿密な検査を定期的にするように推奨します。

## リサイクル

我々の使用する全ての素材は、その優れた技術的性能及び環境への優しさから特別に選択されています。このレスキューパラシュートを製造するために使用される素材はどれも環境に害を与えないものです。その素材の大部分はリサイクル可能なものです。あなたの古くなったレスキューパラシュートを一般ごみとして廃棄するのではなく専門のリサイクル業者に相談するようにお願いします。あるいは、スプエアーのディーラーに持ち込んでそこからスプエアーに送ることも可能です。

## 修理

高品質の素材を使用していますが、パラシュートを使用しているうちに劣化する可能性があります。何がしらの摩耗や裂け目などの兆候が見られたら認定された専門家による検査/修理を実施する必要があります。

## 交換部品

-レスキューインナー

## 素材

>> ライン

- ライロス製 00148-0131
- ライロス製 00099-1192 (S, M et L)
- クーザン製 2411 Rescue line (Biplace).

>> クロス

- MJ International D20,
- PA 6.6 High strength, 20dctex 30gm/m<sup>2</sup>.

>> ブライダルテープ

- Braid 6 mm 2 500DaN.

## 保証

スプエアーはその製品の設計・製造に特に気を付けています。従って通常の使用において発生した不具合および設計上の欠陥に対し、購入日から2年間保証致します。過度あるいは間違った使い方、また高温、強烈な太陽光、高湿度などの過激な状況下に晒されたりした場合は、その結果としてダメージが誘発されるので、この保証は無効となります。

## 免責条項



パラグライディングは、注意深さ、特別な知識と適切な判断を必要とする厳しいスポーツです。慎重に、認可を受けた専門のスクールで正しい練習をし、保険をかけ、あなた自身の技術レベルを正しく把握し、無理なくフライト出来るコンディションでのみフライトをして下さい。フライトするのはあなたで、責任は全てあなた自身にあります。従ってスプエアーはフライトに起因する事故に対しての責任は負いません。その製品に対してのみ責任を負うものです。



このレスキューパラシュートは、パラグライダー専用としてデザインされています。その他(スカイダイビング、ベースジャンピングなど)に使用することは完全に禁止されています。

## フライト装備



パラグライディングをするときに、パラグライディング用として認証を取得しているヘルメット、適切なブーツおよび服装を着用することは、あなたの安全にとって極めて重要です。また、あなたの体重にあったレスキューパラシュートを正しくハーネスに接続しておくことは必須です。

# 整備履歴

このページをあなたのシャインの整備履歴を把握するために活用してください。

購入日付	
購入者氏名	
販売店名・印	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	



輸入者 ファルホークインターナショナル有限公司  
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12  
<http://www.falhawk.co.jp> Email: [info@falhawk.co.jp](mailto:info@falhawk.co.jp)

SUPAIR-VLD  
Parc Altaïs  
34 rue Adrastée  
74650 Chavanod, Annecy  
FRANCE

[info@supair.com](mailto:info@supair.com)  
+33(0)4 50 45 75 29

45°54.024'N / 06°04.725'E